

新年のご挨拶

日本内燃機関連合会
会長 高畠 泰幸

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、日本内燃機関連合会(日内連)を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

2025 年を振り返りますと、明るいニュースの一つとして大阪万博の開催が挙げられます。1970 年の前回開催から実に 55 年ぶりの開催となりました。建設費や運営費の問題に加え、外国パビリオンの建設遅れもあり、前評判は決して良くありませんでしたが、開幕後は徐々に万博の魅力が人々に伝わり、来場者の満足度は高まり、総来場者数も 2,900 万人を超え、成功裡に閉幕となりました。また、昨年は梅雨明けが記録的に早く、これまで以上に暑さを感じる夏となりました。6 月から 8 月の平均気温は平年より 2 度以上高く、観測史上最高を記録する顕著な猛暑だったとのことです。さらに、夏の気温上昇に伴い、線状降水帯による被害も大きくなつており、改めて気候変動を痛感させられる一年となりました。

さて、昨年の日内連の活動ですが、5 月には CIMAC 役員会・評議員会がチューリッヒで CIMAC 大会の前日に開催され、出席いたしました。評議員会では、役員の 2028 年大会までの任期延長が決議されました。前回大会がコロナにより 1 年延期されたため、今回大会での役員交代では任期が 2 年と短すぎるとの判断によるものです。小職は 2016 年大会以降、Global Integration 担当の副会長を務めさせていただきましたが、今回をもって退任いたしました。この間の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。新たに、日本からは日内連の川上専務理事が Working Group 担当副会長に就任されました。

5 月 19 日～23 日には、第 31 回 CIMAC 大会が Zurich Convention Center で開催されました。約 20 か国以上から 1,000 名を超える参加者がおり、2016 年ヘルシンキ大会以来の盛況な大会となりました。論文応募数約 530 件に対する審査の結果、論文講演 205 件、Pecha Kucha 14 件、ポスター 48 件の発表となりました。その中で日本からは講演 30 件、ポスター 4 件で、合計発表件数は中国、ドイツに次ぐ 3 位でした。20 のトピックスについての発表内容では、やはり脱炭素に関連するものが多く、特に 2 ストローク機関のライセンサー 3 社によるアンモニア・水素の二元燃料機関の商品化に関する発表があり、脱炭素に関する機関側の対応が一山超えたとの印象を受けました。

10 月 14 日、15 日には、釜山にて第 15 回 CASCADES が開催され、日本からの 4 件を含め、若手技術者・研究者による 12 件の発表がありました。これらの発表が、内燃機関業界の若手技術者や業界に興味を持つ学生に良い刺激となることが期待されます。10 月 16 日には、日本・中国・韓国による第 12 回 CIMAC 極東会議が開催され、各国の活動が報告されました。中国 NMA の CSICE は個人会員 13,000 人以上、法人会員 400 以上の規模で、各種学術会議の開催など CIMAC 関連活動が非常に活発との印象を受けました。会議にて、来年の CASCADES、極東会議は日本が主催することが確認されました。今後、日内連は関係各位のご協力を得て開催準備を進めたいと考えています。

ISO・JIS 関連の標準化事業では、ISO/TC70(往復動内燃機関)専門委員会、ISO/TC192(ガスタービン)専門委員会、JIS 関係標準化の委員会により、改正・廃止を含む規格の審議活動が行われました。ISO 関連では、規格審議のための国際会議に、日本の意見を反映すべく代表委員が出席しています。10 月 21～23 日には、ISO/TC70 本会議などが東京で開催され、会員各社のスポンサー協力もいただき、成功裡に会議を終えることができました。ここに厚く御礼申し上げます。

昨年 10 月の MEPC 臨時会合では、GHG 排出削減の中期対策を含む MARPOL 条約付属書の改正採択が審議されました。残念ながら米国などの反対により採択の 1 年延期が決議されました。中期対策で IMO は、使用燃料の GHG 強度の規制・基準を達成できない船舶に、未達分に応じた拠出金支払いを求めていました。国際海運に係る船社等は、採択の延期にかかわらず、船価・燃料費・拠出金等を総合的に評価した結果として、代替燃料対応の二元燃料機関の採用に依然として積極的であると感じられます。日内連としても、これまでと同様に脱炭素に向け、皆様の期待に応えられる活動を進めたいと考えます。

最後に、本年も CIMAC 関連と標準化事業を通じて、会員の皆様のお役に立てるよう尽力してまいります。会員企業・団体の皆様のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。本年が会員の皆様とご家族にとって、健康で実り多い年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

